

平成24年度環境サロン 「自然保護と生物多様性保全」

担当：浮田正夫

宇部市では、環境省の補助を受け、宇部市生物多様性地域連携保全活動計画の策定に着手しています。本シリーズでは、長年にわたり自然環境調査に携わってこられた方々に宇部の自然・生物多様性の特徴とこれからの自然共生についてお話しいただき、身近な自然とどのように共存していけばいいのかについて理解を深めたいと思います。

	予定日	テーマ	考える素材と課題
1	10月11日 (木)	宇部の植物とこれからの自然共生 (末広雄次)	小野湖周辺を中心とした自然環境調査について、植物を中心に解説をお願いするとともに、長年植物と関わってこられた経験から、これからの人間と自然の共生をどのようにするべきか考えをお聞きし、議論する。
2	10月25日 (木)	宇部の昆虫とこれからの自然共生 (山口むしの会 後藤和夫)	小野湖周辺や厚東川水系を中心とした自然環境調査について、植物を中心に解説をお願いするとともに、長年昆虫と関わってこられた経験から、これからの人間と自然の共生をどのようにするべきか考えをお聞きし、議論する。
3	11月8日 (木)	宇部の野鳥とこれからの自然共生 (山口野鳥の会 原田量介)	小野湖周辺や厚東川水系を中心とした自然環境調査について、野鳥を中心に解説をお願いするとともに、長年野鳥と関わってこられた経験から、これからの人間と自然の共生をどのようにするべきか考えをお聞きし、議論する。
4	11月22日 (木)	宇部の哺乳動物と これからの自然共生 (県立博物館学芸員 田中 浩)	小野湖周辺や厚東川水系を中心とした自然環境調査について、哺乳動物を中心に解説をお願いするとともに、長年野生動物と関わってこられた経験から、これからの人間と自然の共生をどのようにするべきか考えをお聞きし、議論する。
5	12月6日 (木)	宇部の淡水魚と これからの自然共生 (水産大学校 竹下直彦)	小野湖周辺や厚東川水系を中心とした自然環境調査について、淡水魚を中心に解説をお願いするとともに、長年淡水魚と関わってこられた経験から、これからの人間と自然の共生をどのようにするべきか考えをお聞きし、議論する。
6	12月20日 (木)	榎野川河口干潟自然再生の 取り組み (山口大学名誉教授 浮田正夫)	山口県が7、8年来取り組んでいる榎野川河口域・干潟自然再生事業の取り組みとその成果について解説し、これからの展望について考えを聞き、今後の自然共生のあり方について議論する。
7	1月10日 (木)	生物多様性保全地域連携の 仕組みづくり戦略 (山口大学 関根雅彦)	山口県内で長年取り組まれてきた、多自然型の川づくりや生物多様性保全の拠点例の紹介と、今後の展開を図る上でどのような戦略が必要かについて議論する。
8	2月7日 (木)	ペットの飼い方マナーについて (ボイブアニマルズ 小山 悟)	野良猫の餌付け、避妊手術、その他猫や犬などのペットの飼い方マナーについて、解説し、今後の問題点について議論する。
9	3月7日 (木)	宇部市生物多様性地域連携保全活動 計画について (山口大学名誉教授 島 徹史)	宇部市生物多様性保全地域連携推進計画について、そのねらいと内容を紹介し、これをどのように推進し、活かしていくのかについて議論する。

補足

1. 本シリーズは宇部自然保護協会、宇部市まちなか環境学習館とうべ環境コミュニティーの共催として実施します。
 2. 開催日は原則、10月から3月まで、第2木曜日の19:00~20:30です。10月、11月、12月は第4木曜日も行います。
 3. 19:00~20:30 の1時間半のうち、前半は話題提供者からの問題提起、後半は参加者間の討論を基本とします。レジュメと動画の準備を話題提供者と運営責任者が行います。
 4. 成果報告は、形にして、ポータルサイトに残します。また、エコフェアなど、別に発表の機会を設けます。
- ※ 各回のみ参加も結構です。資料代は会場費を含め、毎回300円です。
- ※ 駐車スペースがあまりありませんので、できるだけ、自転車、公共交通等でおいでください。